

# 地域経済研究所日誌 (2009年4月～2010年3月)

## 2009年

- 4月1日 地域経済研究所の新スタッフが決定し、第3代所長に長尾正克経済学部教授、副所長に桑原真人経済学研究科長が就任する。また運営委員会のメンバーとして、長尾・桑原両教授の他に原田明信経済学部長、小島基男経済学部経済学科長、内山隆司経済学部評議員、学部教員代表として松本源太郎経済学部教授の計6名が選出される。
- 4月20日 第1回地域経済研究所運営委員会を開催する。  
議題  
①平成20年度事業の報告  
②平成21年度事業について他  
③研究助成者公募の件
- 6月1日 第2回地域経済研究所運営委員会を開催する。  
議題  
①研究助成者の件（公募期間内の応募者なし）  
②ブックレット第11号の刊行及び第5号の増刷の件  
③客員研究員採用の件（横島公司氏）
- 7月6日 第3回地域経済研究所運営委員会を開催する。  
議題  
①客員研究員採用の件（宇田啓子氏）  
②ブックレット第11号発行の件  
③ブックレット第5号増刷の件
- 7月27日 地域経済研究所のブックレット第11号として『評論：21世紀の北海道経済II（2006～2008）』が刊行される。
- 12月5日 第8回3大学院共同シンポジウム、「地域づくり Part 3— 経済不況と地域再生を目指して—」を共通テーマにして沖縄国際大学で開かれる。本学からは松本源太郎経済学部教授が「ネットワーク・観光と地域づくり」と題して報告する。なお、シンポジウム全体の報告者は以下の通りである。  
共通テーマ  
「地域づくり Part 3— 経済不況と地域再生を目指して—」  
報告① 宮森 正樹氏（沖縄国際大学大学院地域産業研究科教授）「沖縄における長期滞在型観光の可能性」  
報告② 松本 源太郎氏（札幌大学大学院経済学研究科教授）「ネットワーク・観光と地域づくり」  
報告③ 富沢 拓志氏（鹿児島国際大学大学院経済学研究科准教授）「地方分工場の未来と産業振興」  
報告④ 東濱 克紀氏（那覇市NPO活動支援センター地域教育コーディネーター）「地域づくりにおける大学・企業・NPOの協働の人づくり」  
なお、シンポジウム開始前の3大学院関係者による事前打ち合わせの中で、2011年度を目標として3大学院共同シンポジウム記念論文集を刊行する方針が改めて確認され、各大学から担当教員を一人宛選ぶこととした。各大学の担当者は次の通りである。

鹿児島国際大学 菊地裕幸准教授  
沖縄国際大学 村上了太教授  
札幌大学 松本源太郎教授

②地域経済研究所の廃止時期について（2009年度末をもって廃止することを決定、後日経済学部教授会に報告・了承を得ることとする）

## 2010年

---

1月13日 地域経済研究所主催の第1回講演会を実施（講演者：札幌医科大学非常勤講師 竹野 学氏「日本統治下の樺太の歴史」）。

1月18日 第4回運営委員会を開催する。  
議題

①研究紀要『地域と経済』第7号（終刊号）の発刊について

3月15日 第23回経済学部教授会において、長尾所長より地域経済研究所の年度末廃止の報告が行われ、了承される。

3月31日 研究紀要『地域と経済』第7号（終刊号）が刊行される。札幌大学経済学部附属地域経済研究所は廃止され、札幌大学附属総合研究所に統合される。